



あの時、アイツの声が聞こえていれば...

聲の形

こ え の か た ち



本作について

道徳の授業の教科化に伴い、如何にして子ども達を「心の豊かな人間」に育てるか様々な議論がなされており、原作の『聲の形(こえのかたち)』(講談社)は、現代の子ども(リアル)な表情を描きつつ、「いじめ」や「障がい」との共生などの難しいテーマを、読者が自然に考え、手紙を書くことで伝える物語であり、人権意識を常に高く持つべきである。周囲の人間を構つて可能性のある事を教えます。

本作は原作の物語を基本に、教材としてのテーマを付加したドラマ形式の学習教材です。

『いじめ』や『障がい』に対する意識と知識を高め、学校や家庭内で話し合うきっかけとしてお役立て下さい。

授業で使いやすい
学習指導案 付き

ワークシート
字幕版付き

上映時間:30分 [C #0650]
DVD 66,000円(税別)

監修：一般財団法人 全日本ろうあ連盟

【収録資料】

本DVDは、授業でお使い顶きやすい様に、以下の資料をデータ収録しています!!

- 学習指導案
本DVDを利用した50分授業の学習のねらいや目標、指導展開案など
- ワークシート案
学習指導案に刺つた構成で、生徒の意見を引き出しやすい設問案

作成協力：岡崎市立豊中学校

【学習のねらい】

- ドラマ内で描かれる「いじめのメカニズム」を知る。
- いじめに悩む人の気持ちを想像し、いじめを防ぐ方法や加害者に対してどう行動が取れるのか考える。
- 障がいのある友人との接し方について考える。

【原作について】

「いじめとは何か?」「障がいと向き合うとは?」



▲コミック第1巻 ▲本DVDパッケージ

【監修に寄せて】

もし教室に耳の聞こえない生徒がいたら...、先生の声、クラスメイトの声が届かない生徒が。DVD『聲の形』は耳の聞こえない清子を取り巻く学校生活の現実を率直に描いていると思います。聞こえない生徒に昔の声を届け、自らのメッセージを伝える方法のひとつに手紙があります。手紙は目で見て手や表情などで伝える言語です。今、小学校や中学校で聞こえない人や手話への理解を広める取り組みが広がっています。音が手紙を書く、聞こえない生徒も生き生きとコミュニケーションができる社会となることを願ってやみません。

先生や生徒たちが清子へ自分たちのメッセージを伝え、清子のメッセージをどう受け止めるか、そのコミュニケーション方法も含めて一人ひとりが考えてほしいと思います。

監修：高橋浩 / 脚本：松島恵子 / プロデューサー：岡田圭一郎 / キヤスティングプロデューサー：福岡康裕 / 音楽プロデューサー：津島玄一
音楽：加藤密太郎 / ライン・プロデューサー：石川真博 / 演技指導：手話あいらんど / 取材協力：東京国立聴覚ろう学校
原作：大今良時 / 原案：『講談社』(講談社)『週刊少年マガジン』連載 / 制作：プロダクション・エンターテインメント・フィルム
製作：東映株式会社 教育映像部 ©大今良時 / 講談社 [2015年作品]

予告編配信! 教育映像 検索 <http://www.toei.co.jp/edu/>

東映株式会社 教育映像部
<http://www.toei.co.jp/edu/>

東京営業推進室 東京都中央区銀座3-2-17 〒104-8108 ☎03-3535-3631
関西営業推進室 大阪市北区梅田1-12-6 〒530-0001 ☎06-6345-9026
広島出張所 広島市中区橋本町5-2 〒730-0015 ☎082-511-2066
福岡出張所 福岡市博多区中洲4-3-18 〒810-0801 ☎092-262-3101

お買上げは <http://www.toei.co.jp/edu/>

